

日本大学歯学部 本館



外観

創設百周年事業の一環として完成した本館は、付属歯科病院が併設された、教育・臨床・研究を融合した地上7階、地下2階の校舎。本有数の歴史文教地区であるお茶の水エリアに位置する。



校舎1~3F 男性トイレ洗面・歯みがきコーナー

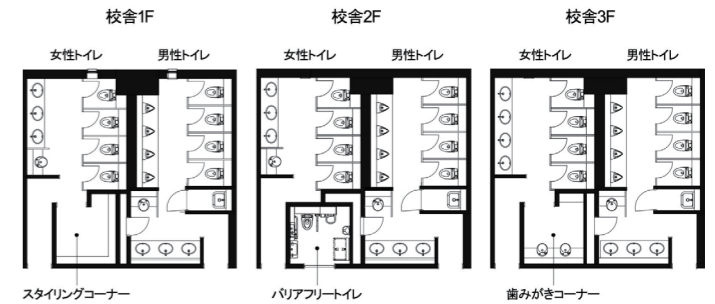
ひろびろとした洗面コーナーは、水濡れを心配せずに安心して荷物を置くことができるドライゾーンを確保。また、歯学を教育・研究する場として、各階のトイレに歯みがき器（歯みがきボウル）を設置している。



校舎1~3F 男性トイレ小便器コーナー

白と淡い水色を基調にしたさわやかなトイレ空間。小便器には、シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。

トイレ図面



校舎1F 女性トイレ洗面・スタイリングコーナー

洗面コーナーと歯みがきコーナーの間には間仕切りを設け、隣人の視線を気にせずに歯みがきができるよう配慮。また、スタイリングコーナーも独立した空間にすることで身づくろいに集中できる環境を整えている。



校舎1F 女性トイレ大便器ブース

大便器ブースの間仕切り壁は天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。さらに、ブース内にも非常用呼出ボタンを設置している。



校舎3F 女性トイレ歯みがき・スタイリングコーナー

講義室や実習室のある3F以上の女性トイレには、2人同時に使用できる歯みがき器（歯みがき用ボウル）を2ヶ所設置している。また、トイレ内の防犯対策として大便器ブースや洗面コーナー、スタイリングコーナー、男性トイレの小便器コーナーなどに非常用呼出ボタンを設置。洗面・スタイリングコーナーの呼出ボタンの位置は、学生の持ち物が不意に当たって誤作動しないよう検討し決定した。また、学生OBなど当施設を訪れるさまざまな利用者を想定し、車いす使用者、オストメイト、お子様連れに配慮したバリアフリートイレも設置されている。

水まわりの特長

建物の特徴

「日本大学歯学部 本館」は、創設百周年事業の一環として2021（令和3）年に完成した。国内有数の歴史文教地区であるお茶の水エリアに位置。地上7階、地下2階の建物は、付属歯科病院が併設され実習と学習を効率的に行うことができる複合施設となっている。2018（平成30）年に先進的歯科医療の現場である付属歯科病院と創設百周年記念講堂などがある1期棟が完成。さらに、2期棟として図書室、講義室、実習室などがある新校舎が、2021（令和3）年に完成した。新校舎には、学びの場としてのグループスタディールームやラーニング・commonsやリフレッシュとコミュニケーションの場としてのラウンジも備えられており、建物全体で教育・研究・臨床を融合させた施設を実現している。

水まわりの特長

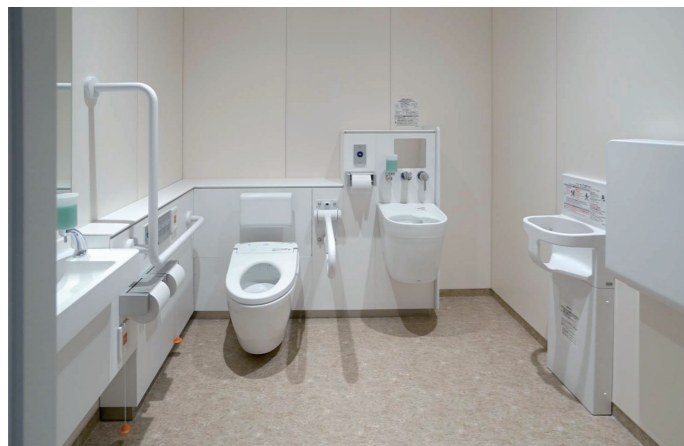
校舎各階トイレの洗面コーナーには、歯学を教育・研究する場として、男女トイレともに歯みがきコーナーを設置。講義室や実習室が中心となる3F以上の女性トイレには、多人数への利用に備えて2人同時に利用できるよう歯みがき器（歯みがき用ボウル）を2ヶ所設置している。また、トイレ内の防犯対策として大便器ブースや洗面コーナー、スタイリングコーナー、男性トイレの小便器コーナーなどに非常用呼出ボタンを設置。洗面・スタイリングコーナーの呼出ボタンの位置は、学生の持ち物が不意に当たって誤作動しないよう検討し決定した。また、学生OBなど当施設を訪れるさまざまな利用者を想定し、車いす使用者、オストメイト、お子様連れに配慮したバリアフリートイレも設置されている。

建築概要

名称	日本大学歯学部 本館
所在地	東京都千代田区神田駿河台1-8-13
施主	日本大学本部管財部
設計	株式会社石本建築事務所
施工	建築 清水建設株式会社 設備 東洋熱工業株式会社 電気 株式会社関電工
竣工年月	2021年10月
敷地面積	4,801.22㎡
建築面積	3,169.54㎡
延床面積	23,874.85㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造・地下2階、地上7階

おもなTOTO使用機器

フラッシュバルブ式便器:C550NU/ウォシュレットPS:TCF5504P
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840系
大便器自動洗浄システム オートクリーン:C:TES47UR
棚付二連紙巻器:YH702/自動洗浄小便器:UFS900R
洗面器:L531/歯みがき器:L595
台付自動水栓:TENA12A/立水栓:TL595AR
コンパクトバリアフリートイレバック:UADAK11L1D1ADD2WA
ペーパーシート:YKA25S/ペーパーチェア:YKA15S

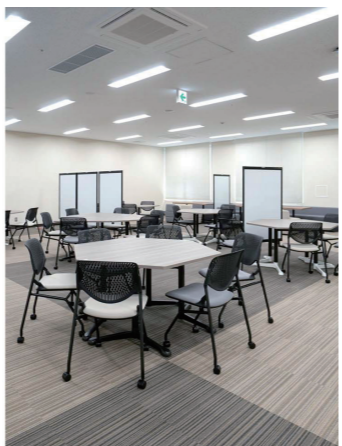


校舎2F バリアフリートイレ

学生OBや近隣住民などのさまざまな利用者を想定し、車いす使用者やオストメイト、お子様連れに対応できる設備を備えたコンパクトバリアフリートイレバックを設置している。



校舎B1F・1F グループスタディールームラーニング・commons



校舎B1F ラウンジ

アースカラーでコーディネートされラウンジはリフレッシュとコミュニケーションの場として設けられた。一角には手洗いコーナーを設置している。